

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・観光客の入域数が好調であり、今後も一番恐れているテロの発生がなければ、徐々に良くなる。観光客が増えれば沖縄での消費も増えることから、今後に期待したい。
	やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・秋物の商品が入荷し、新しい商品に変わっており、客は新しい商品に対して反応することから期待している。
		その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・観光客の動きも良くなっているが、売れる地域、売れる商品、売り方に偏りが感じられ、皆その地域に集中するので、街の個性がなくなってきた。
		観光型ホテル（商品企画担当） 観光型ホテル（営業担当）	・稼働率は例年同様だが、販売単価が昨年よりも上回るが見込まれる。 ・予約状況が好調である。
	変わらない	百貨店（担当者）	・首都圏が猛暑であることから衣料品、初秋物入荷の遅れが目立っており、懸念材料となっている。ただし、中元、オリンピック等、いくつかの需要を喚起する要因があることから改善する。
		コンビニ（経営者）	・この1年の客単価をずっと見ているが、やっと下げ止まったという感じであり、しかしまだ、上昇はしていない。
		コンビニ（エリア担当）	・競争激化で店舗のスクラップアンドビルドが進む。 ・繁忙期の夏場は越えられるが、その後体力のない店は閉鎖し、結局はプラスマイナスゼロで現状を維持する。
		家電量販店（副店長）	・今後、大型競合店の出店があり、また、一部の競合店が現状よりも大幅値下げをしていることから、購入の際に来客の値引き交渉が発生するなど単価ダウンの要因となってくる。
		旅行代理店（経営者）	・現状の景気が今しばらく続く。
		観光名所（職員） 住宅販売会社（従業員）	・2、3か月中には沖縄観光に大きい観光変化はない。 ・景気の回復傾向がいわれているが、消費者の先行きに対する不安感は依然としてぬぐえていないようで、戸建ての住宅需要は停滞しており、金利の上昇気運や資材価格の高騰で一部住宅価格の上昇もあり、慎重になっている。
やや悪くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・Tシャツ主体の夏商品から長袖やトレーナーなどの秋・冬商品の変更時期になるため、客の購入内容にばらつきが出て売上が悪くなると予想されるが、新規企画商品でどう対応するかが課題となっている。	
	スーパー（経営者）	・客単価は、依然厳しい状況にあるが来客数は増加傾向にあり、売上では、前年同月値を達成しているが、6月から8月にかけて競合店のオープン等が続いており、今後かなり厳しい状況が続く。	
	ゴルフ場（経営者）	・夏場のゴルフ客の集客については、低単価傾向は依然として続く見通しである。今年の秋には、新規のゴルフ場がオープンするため、その影響も多少ある。	
悪くなる	商店街（代表者）	・客の流れが中心部から郊外へと移動しており、大変厳しい状況にあり、街の空洞化は今後も進む。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・問い合わせ及び引き合い件数が増加している。
		輸送業（総務担当）	・新規荷主の増加により、県内外の物量が増える。リストラによるアウトソーシング化、県外業者の進出による県内での物流構築等、これからも増える傾向にある。
	変わらない	輸送業（営業担当） 不動産業（支店長）	・特段の変化はなく推移する。 ・景気が良くなる兆しが、まだ見られない。
	やや悪くなる	通信業（営業担当）	・サービス単価の高い法人客がサービス単価の低い一般客向けのサービスを流用するケースが出てきており、新サービスは安価で高性能のため、サービスのアップグレードも売上増には直結していない。
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 （営業担当）	・観光客の増加や年末にかけた郊外等における大型ショッピングセンターのオープン等に伴い、求人数の増加が期待される。
		学校〔専門学校〕（就職担当） 学校〔大学〕（就職担当）	・現在の求人数も増加傾向にあり、今後も安定した求人が見込めることから期待できる。 ・夏場の沖縄観光好調の影響で、雇用面でも相乗効果が期待できる。

変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣業においては、まとまったニーズの動き等があり、良くなりそうな期待感はあるが、ただし、この時期は例年、夏休み等の取得などで稼働率が下がり、結果として利益率も下がる傾向があるため、あまり変わらない。
	職業安定所（職員）	・新規求職申込件数及び月間求職者数は、前年同月比で新規14.2%、月間有効4.3%とそれぞれ増加しており、特に新規求職者申込件数においては、雇用保険受給者及び県外希望の求職者が増加している。また、新規求人数は、前年同月比で12.0%の増加となっており、今後も、求職、求人とも増加傾向で推移する。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-